

## Y05b 日食インターネット中継の実施とその教育利用について

縣秀彦（国立天文台），尾久土正己（みさと天文台），中山雅哉（東大情報基盤センター），永井智哉（日本科学未来館），高橋典嗣（明星大）ほかライブ！エクリプス実行委員会

2001年6月21日のアフリカ皆既日食において，ザンビア，ジンバブエ，マダガスカルの3カ国よりインターネット中継を行った．Webおよび遠隔授業会場でアンケートを行い，視聴者の日食中継への満足度等を調べた．その結果，今回の中継においては，視聴者の受信帯域の違い（56kbpsと256kbps）と視聴の満足度との間に相関はなかった．また，中継映像の品質差が視聴の満足度に影響を与えるかを調べるため，一中継地点からは，インテルサット経由でテレビ品質映像を中継用素材として伝送し，他の中継地点からの従来画質での伝送映像と比較したが，56kbpsと256kbpsのどちらの受信帯域の視聴者にとっても，品質の違いが満足度に影響を与えることはなかった．

一方，1Mbps専有で配信され巨大スクリーンに投影された場合は，中継映像の品質差が視聴者の満足度に強く関与していることが確認できた．

以上のように，ライブ！エクリプス実行委員会による日食中継は，狭帯域の回線しかない学校や家庭においても充分利用できることが分かった．また，帯域を充分確保して配信を受けることが可能な環境の学校においては，大型スクリーンに投影して授業利用することで，学習者により一層の関心・意欲を生じさせるものと推察される．多くの学校で教材として利用されることを期待したい．

講演では，2002年6月11日の金環日食インターネット中継でのアンケート結果も併せて報告する．